

第5学年 英語活動指導案

指導者： HRT, ALT

1 単元名 「数や形で遊ぼう!」

2 単元について

- 本単元では、数や形を表す英語表現を使ってクイズやゲームをしたり、作業を行ったりする中で、担任やALTの英語での指示や質問を推測しながら聞こうとすることをねらいとしている。

数や形を表す英語は、比較的親しみやすく、日頃でもよく耳にするものもある。そのため、低・中学年でもよく扱われる題材である。他の題材を扱った活動でも、数や形については触れることが多いため、できるだけ早い時期に出会わせたい題材である。高学年で初めて扱う場合、「いかに活動が単調で幼稚になることを避けるか」といことが課題ではないかと考える。しかし、算数の教科書などを見てみると、第6学年の最後に「世界の数字」としてローマ数字が読み物教材として紹介されていたり、第5学年において「タングラム」を使った形作りが扱ってあったりと、児童の知的好奇心を刺激する内容が載っている。また、「このクラスは何人? 10月生まれは何人? 福岡市の区は何区ある?」など、「そういわれれば、いくつだっけ?」と思うような数を英語で聞いていくことにより、普段気にしていないが自分の身近なところにある数について目を向けさせるきっかけにもなると考える。

このように、活動をより知的に創造的に仕組むことで、高学年でも飽きることなく活動できると考える。

- 本学年の児童は、これまでの英語活動において1~100までの数について、英語で数えたり、それを使ってゲームをしたりしてきている。形については、指示の中で「Make a circle」を聞いて動いたり、日常において「triangle」などを耳にしたことがあったりする程度である。

また、英語活動中に担任やALTが使用する英語での指示については、積極的に聞こうとし、以前よりも「何となく分かるようになった」と答える児童が増えてきた。しかし、その指示や質問に対する反応は、まだまだ日本語に頼るところが多く、「英語を使ってみよう」という姿は少ない。「間違えてもいいから自信をもってやってみよう」とする積極性を、ペア学習やグループ学習を数多く仕組むことで育てていきたい。

- そこで、指導にあたっては、まず、これまでに経験したことのある数字の英語表現をつかった活動を行う。新しく「ローマ数字」を紹介して、その読み方を考えたり、自分の身近なところにある数を考えたりすることで児童の知的好奇心を刺激し、「聞いてみたい、答えてみたい」という気持ちにさせていく。その中で「What's this number?」「How many in ~?」などの表現を繰り返し使用し、数の尋ねる表現を聞き慣れさせていく。そのことにより、これからの活動中においても抵抗無く聞き取れるようにしていきたい。

次に、「タングラム」を使って、形づくりをする。タングラムは、算数科学習にて一度簡単に学習しているが、教科書に載っている形以外はまだ触れていない。基本的な「三角形、四角形」などの英語表現に触れることができ、また、タングラム自体をつくることによって、「線を引く、切る」などの指示語にも触れることが出来る。作業を入れることで、英語での指示を「しっかり聞く」ということを意識させたい。指定された形をつくる過程で自然に「Hint please.」などの表現も紹介することができる。

最後に、グループでの共同絵画をする。「円、三角形、四角形、菱形」などの基本的な図形を組み合わせ、ものの形を表し、それをグループで一枚の絵の中に並べて作品をつくる。何をどのような分担でつくるか、どこに並べるかなど、全体のバランスを考えながらグループで相談して決めるようにしていく。できた絵をみんなで鑑賞しながら、何を表したかなどのやりとりを英語やジェスチャーなどで行っていくようにする。

これらの活動を通して、担任やALTの英語での指示や質問を推測して聞こうとする態度や、知っている英語やジェスチャーなどを使って、伝えようとする態度を育てていきたい。

3 単元の目標

担任や ALT の英語での指示や質問を推測しながら聞こうとする（コミュニケーションへの積極性）
 ローマ数字や英語での数の表し方や基本的な形の表し方を知る（言語や文化への体験的理解）
 What's this number? ,How many~? What's shape is this?など，数や形についての質問を理解し，
 知っている英語を使ってやりとりをしたり，英語での指示に従って作業をする（音声への慣れ親しみ）

4 単元計画（全3時間）

時	活動名(指導形態) ねらい	主な活動と英語表現	評価規準
1	これ，いくつ？ (HRT+ALT) 英語での質問をよく聞き，身の回りの数字をあてることができる	<ul style="list-style-type: none"> 歌「Seven steps」を歌う 1~7 7~1 8~14 いろいろな数字（ローマ数字） 「How many BINGO」をする 1~100 までの英語表現 What's this number? This is two. How many in ~? Let' count. It' 42. 	<ul style="list-style-type: none"> 英語での指示や質問を推測しながら聞き，知っている英語や動作などを使って応えている。 友達と協力し，ローマ数字を読んだり身の回りの数字を探したりしながら，楽しんで活動しようとする
2	タングラムで遊ぼう (HRT+ALT) タングラムを使って形をつくり，ヒントをもらうなどの英語でのやりとりを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> タングラムをつくる タングラムで形づくり Please draw a line like this. Cut this line. triangle, square, big, middle, small leaned square(parallelogram) Please make a big square with these shapes. Hint please. 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力して，英語での指示に従いながらタングラムの形づくりを楽しむ。 英語での指示にしたがって作業をすることができる。
3	アーティストになろう (HRT+ALT) 友達と協力して一枚の絵をつくり，つくったものを尋ねたり紹介したりして英語でのやりとりを楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 絵描き歌に挑戦 協同絵画 triangle, square, circle, rectangle, oval There are two circles. What's this? It's ~. How many square are there in this? We made ~. 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力して，英語での指示に従いながら絵をつくっている。 できあがった絵について簡単な英語やジェスチャーを使って説明しようとする。

5 本時の活動 (1 / 3)

(1) 本時の目標

ローマ数字に興味をもち、英語での指示や質問を推測しながら聞いたり、知っている英語やジェスチャーなどを使って反応したりしようする

友達と協力し、身の回りの数字を探しながら、楽しんで活動に参加している

(2) 本時指導の考え方

本時は、ローマ数字の数あてクイズや「How many BINGO」ゲームを通して、英語での数字の言い方に慣れ親しみ、英語での指示や質問を推測しながら聞こうとしたり、知っている英語や動作などを使って答えようとしたりすることをねらいとしている。

そのためにまず、warm upとして「Seven steps」を歌う。1～7までを逆に歌ったり、8～14にかえて歌ったりしながら、英語での数字の言い方を確認していく。

Activityでは、まず、「What's this number?」をする。これは、ローマ数字で書かれた数をあてるクイズである。「Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, (5), X(10), L(50), C(100)」の基本的な表し方と「Ⅳ(4), Ⅵ(6)」の規則(左に書けばマイナス, 右の書けばプラス)を知れば、その組み合わせにより、その他の数字をあらわすことができる。このようなローマ数字の特徴を英語での指示を推測しながら聞き、例題として出されたローマ数字はどの数を表しているのか、ペアになった友達と協力しながら考えていくクイズである。一人では、内容を聞き取るのが不安な児童や、算数が苦手な児童も、ペアにすることで補いながら楽しんで活動できるようにしておく。

次に、「How many BINGO」をする。通常のBINGOゲームでは、好きな数を好きなマスに並べて遊ぶことが多いと思うが、今回は、A～Iまでの9つの数に関する問題を聞き、その数字を当てながら好きなマスに並べるというルールにする。出す問題は、児童の身近にあるものの数を尋ねたり、実際に数えたり計算してみなければ分からないものにしたりなど、児童の知的な部分を刺激するような問題にする。そのことで、しっかりと問題を聞く必然性や、答えをグループで相談するようにさせたい。答えを確かめるときも、グループで自信のある問題を選んで答えていくようにさせ、ただ単に正解を聞くだけでなく、児童の知恵を使える場面をつくっていくことにする。

Evaluationでは、「コミュニケーションマスターへの道(Heart・Guess・Reaction・Try・Fun)」について振り返らせ、頑張っていた児童を紹介しみんなで賞賛することで、次回の目標となる姿へとつなげていきたい。

(3) 準備 児童用名札

ローマ数字カード ローマ数字クイズプリント

B I N G Oカード B I N G O問題(A～H)

振り返りプリント

資料〔How many BINGO〕クイズ例

A: How many students are there in this class?

B: How many girls are there in this class?

C: How many students, was born in October, are there in this class?

D: How many rooms in this floor (4th floor)?

E: How many lessons in this week? Today you have 5 lessons, 1st period is Japanese, 2nd period is English, 3rd period is math

F: How many pencils do you have in your group?

G: How many years is MIWADAI elementary school?

H: How many wards are there in Fukuoka city? Miwadai is in Higashi ward. Fukuoka dorm is in Tyuou ward. (How many prefecture are there in Kyusyu?)

I: How many stars are there in the American national flag?

(4) 展開(1/3)

時	児童の主な活動	教師の支援と使用できる英語表現		指導上の留意点 ・評価(方法)
		HRT	ALT	
3	Greeting あいさつをする 「コミュニケーションマスターへの道」の中から頑張ることを見つける	Let's start today's lesson. Good morning everyone. Let's say good morning to Mindy sensei.	Good morning. How are you?	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りから、友達との協力によって考えの違いを発見できた児童を紹介する ・英語での数字の言い方を、歌を通して思い出させるようにする(特に11~14) ローマ数字に興味をもち、英語での指示や質問を推測しながら聞いたり、知っている英語やジェスチャーなどを使って反応したりしようとしている(様相観察) ・早くできたところには、時間になるまでチャレンジ問題として、オリジナル数字問題にも挑戦させる。
5	Warm up 「Seven steps」を歌う。 1~7まで 7~1と逆に 8~14に変えて 10は言わずに	Let's sing "Seven steps". Today's aim is this.	Today's topic is about numbers. Do you know this song? Next, Let's count down. Last, change the number from 8 to 14 Don't say 10.	
Aim 友達と協力して、数字で遊ぼう				
15	Activity ローマ数字で表された数字をあてる(ペア学習) ・基本となる数字を知る(, , , , X, L) ・プリントに書いてあるローマ数字を読む ・早くできたところは、教師オリジナルの数字にも挑戦する	First activity is 「what's this number?」. This is pair work.. 説明の後、プリントを配る I'll give you 5 min. Are you ready, start. Time's up.	Look at these marks. These are Roman numbers. What's this number? Can you say this number? , , , , X , left side means minus and right side means plus. , L, C There are two X's. It's twenty. C means one hundred. Let's check the answer.	
15	「How many BINGO」をする(グループ学習)	Next is 「How many BINGO」. This is group work.. 3×3マスの中に1~100までの数字を入れる ただし、入れる数字についてはクイズ(A~I)をよく聞き、その答えを想像して入れる はじめのグループから、どの問題の答え合わせをするのか決め、順番に答えていく。	(Please explain the rule) Question A: How many student are there in this class?	
5	Evaluation まとめをする ・推測しながら聞いたか? ・友達と協力して活動したか? ・「今日の学習で」を書く	Next question, please. It's time to finish. Mindy sensei, how was today's lesson?	Let's check the answers. Group 1, please choose the question. That's right. Did you guess? Did you try? Did you fun? Good try! I was very happy.	
2	Closing あいさつをする	That's all for today Let's say good bye to Mindy sensei. See you next time.	See you next time.	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力し、身の回りの数字を探しながら、楽しんで活動に参加している(様相観察、記述分析) ・問題は、このクラスの児童数、今筆箱に入っている鉛筆の合計など、身近な数字を考えるものにする 英語での質問を推測しながらよく聞き、英語でのやりとりを楽しんでいる(様相観察、記述分析)

6 本時の活動 (2 / 3)

(1) 本時の目標

英語での指示や質問を推測しながら聞いたり, 知っている英語やジェスチャーなどを使って反応したりしようとする。

友達と協力し, 楽しんでタングラムの形づくりに参加しようとする。

(2) 本時指導の考え方

本時は, 算数科で学習したタングラムの作成や, それを使った形づくりを通して, 英語での指示や質問を推測しながら聞いたり, 知っている英語やジェスチャーなどを使って反応しようとしたりすることをねらいとしている。

Warm up では, 活動に興味をもたせるために, タングラムのパーツを使ってできる形をシルエットクイズにして提示する。提示する形は, 木・白鳥など動物や身近にあるものにし, 児童が知っている単語を使ってやりとりを楽しめるようにしておく。また, タングラムは中国(「七巧図」)で生まれ「Chinese puzzle」と呼ばれていることや, ナポレオンもタングラムで遊んでいたという話が残っていることなどを伝え, 児童の興味を高めるようにする。

Activity 1 では, まず, 英語での指示を聞きながらタングラムを作成する。作成用の紙は 8×8 cm の方眼を準備し, 線の交点を使って作図できるようにしておく。また, 用紙の色を数種類準備し, 好きな色を英語で伝えられるようにもしておく。さらに, 出来たパーツを元の正方形に戻しながら, その形を確認していく。

Activity 2 では, つくったパーツを使って, Warm up で使用したシルエットの形作りに挑戦させる。ペアで活動させることで, 友達と協力したり, 教えあったり出来るようにしておく。「Hint, please」や「We are finished」などの表現を提示し, 活動中も英語を使って ALT とかわりがもてるようにしておく。

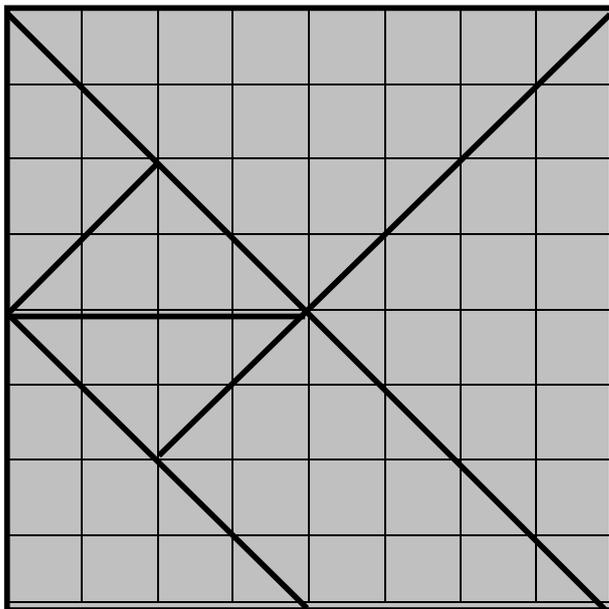
Evaluation では, ALT の話す英語をしっかりと推測しながら聞いたか, 積極的に英語や動作を使って伝えようとしたなどについて振り返り, 記入させる。その際, ペアと一緒に活動した友達のことについても振り返らせるようにしていく。

(3) 準備

シルエット拡大図 タングラム作成説明用拡大紙 提示用タングラムパーツ

タングラム用の紙, 一人一枚 (数色 8×8 cm) ヒントカード 振り返りカード

資料 タングラムの作り方 (形を作るときは裏側を使用)



Draw a line like this. Upper left-hand corner to the bottom right-hand corner.

Draw a line like this. From the left side, middle 1,2,3,4 to the bottom middle 1,2,3,4.GO

Draw a line like this. Upper right-hand side to line 2 and stop.

Draw a line like this. From the same point, draw a straight line to THIS line and stop.

Draw a line like this. Last, top left corner, count 1,2, and 1,2 down...from this point to here.

Cut these lines with your scissors.

(4) 展開(2/3)

時	児童の主な活動	教師の支援と使用できる英語表現		指導上の留意点 ・評価(方法)
		HRT	ALT	
2	Greeting あいさつをする 「コミュニケーションマスターへの道」の中から頑張ることを見つける	Let's start today's lesson. Good morning everyone. Let's say good morning to Mindy sensei.	Good morning. How are you?	・前時の振り返りから、よく推測して話をきこうとした児童を紹介する
8	Warm up シルエットクイズをする	Let's do warm up. Look at this. タングラムで作った形をシルエットで提示する Do you know this? 簡単にタングラムについての話を する。	What can you see? These are made with some shapes. We call this, the Chinese puzzle. This was made in China.	英語での質問に、知っている英語や動作などで反応しようとしている(様相観察)
10	Aim Activity 英語での指示通りにタングラムをつくる	Today's aim is this. <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">タングラムで遊ぼう</div> At first, let's make the Chinese Puzzle. Which color do you like?	Let's do as I say. Please use your ruler and pencil.	・タングラムは中国で生まれ、七巧図(チ・チャオ・ツ)と呼ばれている。それが世界に広がり、ナポレオンも遊んでいたらしいという話をする
20		左上から右下へ対角に直線を引く 左下から、上に4マス、右に4マスのところを直線で結ぶ。 右上から左下へ対角に直線を引き、との交点で止める。 真ん中から の線に向かって直線を引く の直線2マス目から、左側4マス目を直線で結ぶ 出来たら切り離す		・タングラム用の紙(8×8cm)は、色が選べるよう、数色準備しておく ・指示を出しながら、一つずつ作業についてきているか確認しながら進める 指示をよく聞いて、作業をしている(様相観察)
5	タングラムで形づくりをする ・二人で協力する ・分からないときはヒントをもらいにいく	Hint, please. Let's enjoy the puzzle. This is pair work. We'll give you hints if you need.	What shapes are these? Please make the big square .with these shapes. There are many exercises. Please choose one you like. Please say "we are finished". We'll check.	・挑戦しやすいように、簡単なものから少し難しいものまで、数種類の課題を準備しておく 知っている英語やジェスチャーなどを使って、ヒントをもらうなど、積極的にALTに関わろうとしている(様相観察)
	Evaluation まとめをする ・推測しながら聞いたか? ・友達と協力して活動したか? ・「今日の学習で」を書く	It's time to finish. Mindy sensei, how was today's lesson?	Did you guess? Did you try? Did you have fun? Good try! I was very happy.	友達と協力し、楽しんでタングラムの形づくりをしている(様相観察、記述分析)
	Closing あいさつをする	That's all for today Let's say good bye to Mindy sensei. See you next time.	See you next time.	

7 本時の活動 (3 / 3)

(1) 本時の目標

英語での指示や質問を推測しながら聞いたり、知っている英語やジェスチャーなどを使って反応したりしようとする。

友達と協力し、楽しんで形をつかった絵づくりに参加しようとする。

(2) 本時指導の考え方

本時は、基本図形(円, 三角形, 正方形, 長方形, ひし形)を組み合わせてつくった絵をつかって, クイズをしたり, グループで協同絵画をしたりしながら, 英語での指示や質問を推測しながら聞き, 知っている英語やジェスチャーなどを使って反応することをねらいとしている。

Warm up では, 基本図形の英語表現に楽しみながら聞きなれるために, 絵描き歌を紹介する。ほとんどの児童が知っているキャラクター(アンパンマン)を絵描き歌にすることで, 積極的に自分も書いてみようという気持ちをたせ, 何度もくり返し歌に乗せて形の英語表現を聞いたり, 口ずさんだりできるようにする。

Activity 1 では, まず, 見本で作成した絵(4つ)の中から, HRT が選んだものを形やその数をヒントにあてるクイズを行う。その中で, 絵描き歌で触れられなかった残りの基本図形の英語表現や前時に使用した“~, please.”についても触れるようにしていく。また, クイズで使用した絵が, 次の協同絵画で組み合わせが思いつかない児童への手掛かりになるように, いろいろなパターン(動食物, 食べ物, 乗り物など)を例示するようにする。

Activity 2 では, 基本図形を組み合わせて, グループで一枚の絵を作成する。グループで活動させることで, 友達と相談したり, 教えあったり出来るようにしておく。活動中も, 「What's this?」と尋ねていくことで自分たちの表したものを知っている英語やジェスチャーなどを使って応えたり, 「2 triangles, please.」と欲しい形をつたえたり, ALT とかかわりがもてるようにしておく。

Evaluation では, ALT の話す英語をしっかりと推測しながら聞けたか, 積極的に英語や動作を使って伝えようとしたなどについて振り返り, 記入させる。その際, 一緒に活動した友達のことについても振り返らせるようにしていく。

(3) 準備

例示用の絵(4種類) 基本図形(円, 三角形, 正方形, 長方形, ひし形)のり, クレヨン, 振り返りカード

資料

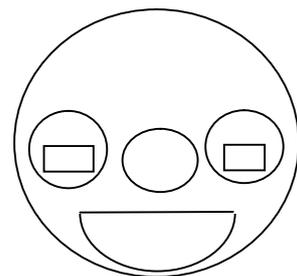
アンパンマン 絵描き歌 (Are you sleeping の曲で)

Circle rectangle, circle rectangle, dot and dot

What can you see?

Circle in the middle. Circle all around.

Smiley face. He is ANPANMAN.



(4) 展開 (3 / 3)

時	児童の主な活動	教師の支援と使用できる英語表現		指導上の留意点 ・評価(方法)
		HRT	ALT	
2	Greeting あいさつをする 「コミュニケーションマスターへの道」の中から頑張ることを見つける	Let's start today's lesson. Good morning everyone. Let's say good morning to Mindy sensei.	Good morning. How are you?	・前時の振り返りから、知っている英語を使おうとしていた児童を紹介する
5	Warm up 絵描き歌を歌う	Great! Let's try together.	Let's do warm up. Please watch me. (Draw a picture while singing on the board)	・本時で使用する基本図形を使って歌いながら絵を描き、楽しみながら英語表現に慣れさせるようにする
10	Aim Today's aim is this.	グループで協力して、世界で一枚だけの絵をつくろう		
10	Activity 図形の数をヒントに、どの絵のことをいっているのかあてる ・まずは、HRTとALTが選んだ絵を、みんなで当てる ・やってみたいグループが選んだ絵をみんなであてる	Today's activity is to make the picture with some shapes. Look at these pictures. In these, there is my picture. Which is it? I'll give you hint. Can you guess? That's right! OK. Next is your turn. Let's ask together!	OK. I'll ask you. How many circles? Maybe I know. Next hint, please. How many rectangles? I know. It's B (A~E).	・一つのヒントでは分からないように、同じ形・数でつくった絵を数枚ずつ用意しておく(次のActivityのヒントにもなるように) 形や数の英語表現を聞き、絵さがしに積極的に参加している(様相観察)
20	グループで協力して一枚の絵を仕上げる ・形を組み合わせてつくったものを並べていく ・空白部分にクレヨンで模様などを付け加える	Let's make the picture with your group. I'll give you 15 min. It's until : . Are you ready? Time's up.	Do you have glue? If you need more shapes, please tell me."2 triangle, please". "1 oval, please" (Walk around, please ask them "What's this?")	・ALTしかもっていない形や色を準備し、ALTにかかわる場を仕組むようにする ・作業中、何をつくっているのか尋ねていく
5	・できた絵をみんなで鑑賞する	Please show me your picture.	Please stop. Next, design something with the crayon this space. What's this?	知っている英語やジェスチャーなどを使って、欲しい色や形をもらうなど、積極的にALTに関わろうとしている(様相観察)
3	Evaluation まとめをする ・推測しながら聞いたか? ・友達と協力して活動したか? ・「今日の学習で」を書く	It's time to finish. Mindy sensei, how was today's lesson?	Did you guess? Did you try? Did you have fun? Good try! I was very happy.	友達と協力し、楽しんで形づくりをしている(様相観察、記述分析)
	Closing あいさつをする	That's all for today Let's say good bye to Mindy sensei. See you next time.	See you next time.	

これ、いくつ? ローマ数字の上に数字を書き込もう。

(1) () () () () () () () () ()

L C

1 次の数字は、いくつ? 上のローマ数字を参考に考えよう。

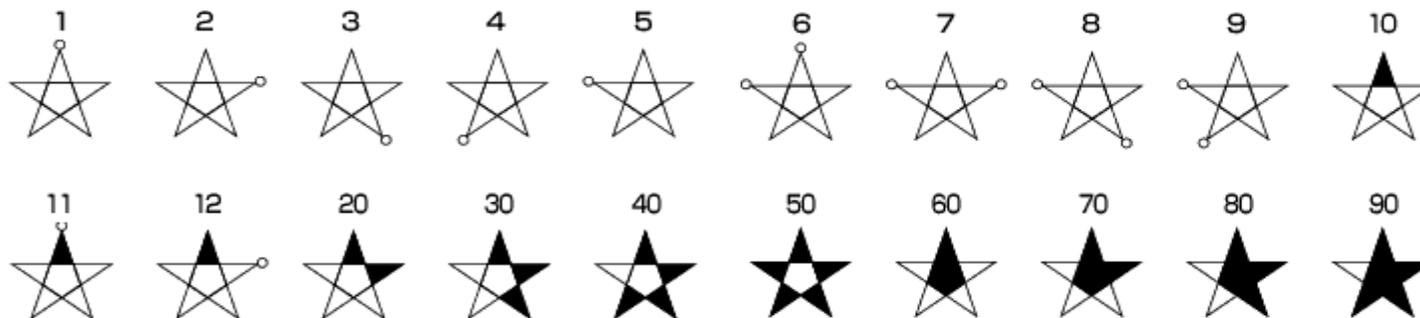
() () () () ()

A B L C D V E L

() () () () ()

F L G C H I L J X C V

2 早く終わったら、次の数にも挑戦しよう。先生がつくったオリジナル数字です。仕組みが分かるかな?



25を表そう!



100を表そう!



3 自分でもオリジナルの数字をつくってみよう。